

令和3年3月30日
山口県土木建築部道路建設課
課長：仙石克洋

担当：主幹 中村昌文
電話：083-933-3714
(内線：3716)

- ① 「山陰道 大井・萩道路」「山陰道 益田・田万川道路」の新規事業化
- ② 「下関北九州道路」の道路調査の見通し
の発表に係る知事コメント

本日、国土交通省から、①「山陰道 大井・萩道路」と「山陰道 益田・田万川道路」の新規事業化及び②「下関北九州道路」の『都市計画・環境アセスメントを進めるための調査』への移行が発表された。

- ① 山陰道については、山陰地域の地方創生さらには国土強靱化を実現する上で不可欠な基盤であり、これまで、山陰道建設促進山口県議会議員連盟や島根県、地元市町と連携し、機会あるごとに国に対し、その必要性和早期整備を訴えてきたところである。

こうした中、「大井・萩道路」と「益田・田万川道路」が新規事業化されたことは、早期の全線整備に向けて大きな前進であり、大変嬉しく思っている。

国においては、当該道路の早期整備にスピード感を持って取り組んでいただくよう期待している。

また、県としても、島根県や地元市町と緊密に連携し、事業の円滑な推進に向けた環境整備等に積極的に取り組んでいく。

- ② 下関北九州道路については、循環型ネットワークの形成による関門地域の一体的な発展や国土強靱化の実現のために不可欠な道路であり、これまで、下関北九州道路整備促進山口県議会議員連盟や福岡県、北九州市、下関市さらには経済界と連携し、機会あるごとに国に対し、早期実現を訴えてきたところである。

こうした中、事業化に向けた次のステップである『都市計画・環境アセスメントを進めるための調査』に移行されたことは、早期実現に向けて大きな前進であり、大変嬉しく思っている。

県としては、引き続き、国や関係県市と連携し、調査・検討を着実に進めていく。

令和3年3月30日

山口県知事 村岡 嗣政